

平成29年度 世界史A

教科(科目)	地理歴史(世界史A)	学科(コース)・学年	全学科・2学年
使用教科書	世界の歴史 世界史A (山川出版社)		
副教材等	21世紀の歴史図鑑 ダイアログ世界史図表 (第一学習社)		
履修単位(時間)	2単位(70時間)	履修条件	必修

1. 学習目標

近現代史を中心に現代世界形成の歴史的過程を日本の歴史と関連づけながら理解する。また、現代の諸事象を歴史的背景から考察することを通して、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 指導の重点

- 「世界史A」では、近現代史の基本的な事柄を、わが国の歴史や地理的条件と関連づけながら理解し、その知識を身につける。
- 副教材における年表、地図その他の資料を積極的に活用することを通じて、有用な情報を選択して歴史的現象を追求する方法を身につける。

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1 学期	第1部 世界の一体化と日本 第1章 世界の諸文明	○東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質を理解する。	○授業に真剣に取り組む、内容の理解に務める。 ・学習状況観察 ・発問評価 ・課題の提出 ・単元テスト ・定期テスト
	第2章 世界の一体化の始まり	○大航海時代のヨーロッパとアジア・アフリカの接触・植民地化について学習し、世界の一体化の動きを日本の歴史と関連づけて理解する。 ○ルネサンス・宗教改革・絶対王政を学習し、その歴史的影響を考察する。	
2 学期	第1部 世界の一体化と日本 第3章 近代の世界	○アメリカ独立革命・フランス革命の展開を把握し、革命の意義・影響を理解する。 ○イギリス産業革命の背景と展開を把握し、その歴史的意義を考察する。 ○ヨーロッパ諸国によるアジア・アフリカの植民地化や従属化の過程を理解し、19世紀の世界の一体化と、その中での日本の対応を考察する。	○授業に真剣に取り組む、内容の理解に務める。 ・学習状況観察 ・発問評価 ・課題の提出 ・単元テスト ・定期テスト
	第2部 地球社会と日本 第1章 急変する人類社会 第2章 帝国主義時代	○帝国主義国の抗争と、日本を含めたアジア・アフリカの対応を理解する。	
	第3章 二つの世界大戦	○第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解し、平和について考察する。	
3 学期	第2部 地球社会と日本 第4章 平和と冷戦 第5章 現代世界と日本	○冷戦の激化とアジア・アフリカ諸国の植民地からの独立を理解する。 ○冷戦終結後の多極化の動き、グローバル化、アジア諸国の台頭、中東情勢、ヨーロッパ統合を理解し、現在の世界が抱える課題を考察する。	○授業に真剣に取り組む、内容の理解に務める。 ・学習状況観察 ・発問評価 ・課題の提出 ・単元テスト ・定期テスト

4. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
○世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとしている。	○現代世界の課題を歴史的背景から考察し、歴史的思考力を身につけている。 ○考察した過程や結果を適切に表現できる。	○世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して歴史的対象を追求する方法を身に付けている。	○世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史や地理的条件と関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。

具体的な評価の対象

- ・年5回（5月中旬、7月上旬、10月上旬、11月下旬、2月下旬）の定期考査
- ・単元テスト、授業で使用したプリント、学習・授業ノートなど
- ・学習活動の参加状況（態度、発言内容、授業への取り組みなど）

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

世界の国々は古くから密接に関わっており、日本も様々な国と交流を持ちながら現在に至っています。世界史を学ぶことで、他の国の文化や歴史を理解することは、自国の文化や歴史の理解も深めることにつながるのです。また、現在、世界で起きている諸問題の歴史的背景を理解することは、現在の諸問題に対する見方をより深めることにもつながります。

皆さんには、世界史を通じて日本を取り巻く世界のさまざまな問題に自ら疑問を持ち、自ら考えて欲しいと思います。